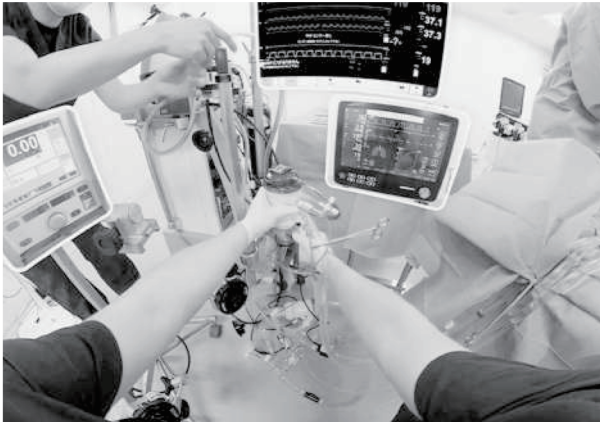


エクモ治療 VRで体験学習



ジョリーグッド（東京都中央区、上路健介社長）は、人工心肺装置（ECMO、エクモ）を使った治療を術者の目線で学習できる仮想現実（VR）教材を開発した。エクモ治療を医師、臨床工学技士、看護師それぞれの目線から学べる。泉工医科工業（東京都文京区）製のエクモ1台、VRゴーグル10台、タブレット

ジョリーグッド

術者の目線から360度の体験学習ができる

術者別に視点切り替え表示

1台とセットで販売する。8月から国内の病院向けに販売を開始し、年30程度の医療機関への導入を目指す。

発売する「MERA EC MOトレーニングVR」のコンテンツは、ジョリーグッドのクラウドサービスからダウンロードして使う。エクモ治療に精通する日本ECMO netの医師5人が監修した。

エクモ治療は症例数が少なく、医師が習熟するのに10年程度を要するという。また1人の患者を医師、臨床工学技士、看護師など10人程度のチームで治療するため、他職種の施術手法を理解する必要がある。VRコンテンツの監修に携わった日本ECMO netの小倉崇以医師は「日本では海外よりもエクモを使える医師が少ない。多様な職種の人にVR教材で学んでもらい、エクモを使える人を1人でも多くしたい」と期待する。